

排卵日予測検査薬 一般用黄体形成ホルモンキット

ドゥーテストLH II

添付文書

ご不明な点があれば、
お気軽にお問い合わせください。
女性スタッフが丁寧にお応えします。



お問い合わせ先：お客さま安心サポートデスク

ドゥーテストLH 専用相談室

☎ 0120-610-219

受付時間9:00～18:00（土、日、祝日を除く）

排卵日を事前に把握することの重要性

妊娠は卵子と精子が互いに生存している時期に出会うことから始まります。女性の体内での精子の生存期間が約2～3日であるのに対し、卵子は排卵後、約24時間しか生存しないといわれています。従って、排卵の前又は直後の性交が最も妊娠しやすく、妊娠を望む上で排卵日を事前に把握することはとても大切なことです。

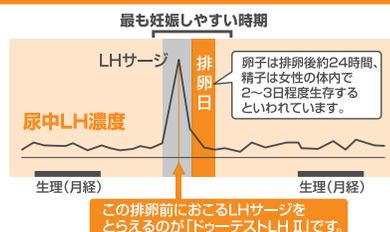
排卵日がわかるしくみ(測定の原理)

黄体形成ホルモン(LH)は、女性ホルモン的一种で、普段から少量分泌されています。生理(月経)周期の中頃に短期間ですが、このLHの分泌量が急激に増加します。このLHの大量分泌をLHサージといい、LHサージから約40時間以内に排卵がおこるといわれています。[ドゥーテストLH II]は尿中に分泌されるLHを検出し、LHサージをとらえるための検査薬です。排卵を予測するための方法の一つとして基礎体温が知られていますが、基礎体温と併せて検査を行うと、より排卵日の予測の補助として有効です。

この検査薬は、LHサージを検出するもので、排卵を確認するわけではありません。6周期検査し、適切な時期に性交しても妊娠しない場合は、医師の診療を受けてください。

妊娠しやすい時期とは?

女性の体内では色々なホルモンが分泌されていますが、その中で排卵を引き起こすのが黄体形成ホルモン(LH)です。LHは普段から少量分泌されていますが、排卵前に分泌量が急激に増加します。(これをLHサージと呼びます。)
「ドゥーテストLH II」はこの尿中LH濃度の変化をとらえて、妊娠しやすい時期(排卵日)を事前に予測する検査薬です。



使用上の注意

❌してはいけないこと

本品は、避妊目的に設計されておらず、検査結果が陰性であっても確実に避妊できるものではないので、避妊の目的で用いてはいけません。(本品は、排卵日予測の補助を目的とした検査薬であり、避妊目的には使用できません。性能上確実に排卵日を特定できるわけではありません。避妊法(経口避妊薬の服用等)を行っている人は検査を行わないでください。)

🗨️相談すること

- ①次の人は、使用前に医師に相談すること。
 - ・不妊治療を受けている人
 - ・通常の性交を継続的に行って1年以上妊娠しない人
 - ・生理(月経)周期が極端に不順又は経血量が異常など月経異常がある人

- ②検査期間中、陰性が続きLHサージが確認できない場合は、早期に医師、薬剤師に相談すること。
- ③この説明書の記載内容で分かりにくいところがある場合は、医師、薬剤師に相談すること。

検査時期に関する注意

- ・1日1回検査をする場合:1日1回毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。
- ・1日2回検査をする場合:1日2回(例えば朝夕)検査をしてください。毎日ほぼ同じ時間帯に検査してください。

廃棄に関する注意

廃棄の際は尿の付着したもの、あるいはプラスチックゴミとして各自治体の廃棄方法に従って廃棄してください。

使用目的

尿中の黄体形成ホルモン(LH)の検出(排卵日予測の補助)

使用方法

検査のタイミング
ご自分の生理(月経)周期から換算して、次の生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始してください。

例)次回生理予定日が6/24の場合



※すでに検査開始日を過ぎてしまった場合は、次の周期にあらかじめ検査開始日を決めて検査してください。

月経周期	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	32日	33日	34日	35日	36日	37日	38日	39日	40日
検査を始める日	5日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日

上の表について、生理(月経)開始日の翌日を1日目として、検査開始日を決めてください。
生理(月経)周期が不規則な方は最近の2～3周期の中で一番短かった周期を目安にして、次回生理(月経)開始予定日を決めてください。

*検査のしかた

検査開始日から、1日1回、毎日ほぼ同じ時間帯に検査をしてください。

(過去に検査をしてLHサージがうまく確認できなかった場合や、今回検査をしたところ陽性か陰性かの判定に迷う場合などには、1日2回検査を行うことで、よりLHサージをとらえやすくなります。)

* 検査の手順 個包装を検査直前に開封し、テストスティックを取り出してください。

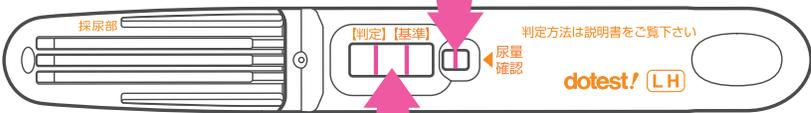
判定のしかたは裏面をご確認ください。

* 判定のしかた

Step 1

尿量確認ラインがきちんと出ているか確認しましょう。

- ※尿量確認ラインが出ていない場合は、正しく検査が行われていない可能性がありますので、別のテストスティックで再検査してください。
- ※色の濃さに関係なく、たとえ薄くても尿量確認ラインが出ていれば、正しく検査ができています。



Step 2

判定窓の【判定】ラインと【基準】ラインの濃さを見比べて、陽性・陰性を判定してください。

- ※検査キットの判定部を以下のように判定してください。初めて陽性になったときが、LHサージが検出されたということであり、間もなく排卵がおこるといえるのです。
- ※【基準】ラインが尿量確認ラインより薄くても問題ありません。判定は【基準】ラインの濃さと【判定】ラインの色を比較し、行ってください。

陽性

【基準】ラインに比べて、【判定】ラインが濃い、もしくは同等の濃さのとき。

【判定】ラインが濃いとき



同等の濃さのとき



陽性が出たら

LHサージが検出されました。間もなく排卵がおこると予測されます。初めて陽性になった日か、その翌日が最も妊娠しやすい時期(排卵日)です。

陰性

【基準】ラインに比べて、【判定】ラインが薄い、もしくは出ないとき。

【判定】ラインが薄いとき



出ないとき

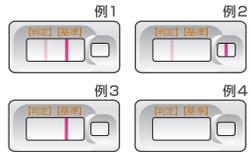


陰性が出たら

LHサージが検出されませんでした。翌日以降もほぼ同じ時間帯に陽性になるまで検査を続けてください。

再検査

尿量確認ラインと【基準】ラインの少なくとも一方が出ないとき。その場合は新しいテストスティックを用いて、再検査してください。



※未開封のテストスティックは次回以降の検査に使用してください。(ただし、使用期限内にお使いください。)

使用に際して、次のことに注意してください。

採尿に関する注意

- ・にごりのひどい尿や異物がまじった尿は、使用しないでください。
- ・検査前4時間程度はできるだけ排尿しないでください。
- ・検査前に、水分を過剰にとらないでください。
- ・検査前に、大量の発汗を伴う運動は避けてください。

検査手順に関する注意

- ・採尿後は、速やかに検査を行ってください。尿を長く放置すると検査結果が変わってることがあります。
- ・操作は、定められた手順に従って正しく行ってください。

判定に関する注意

①検査初日から陽性になった場合

既に排卵された可能性があります。妊娠を望む場合は、できるだけ早く性交することで、妊娠の可能性が高まります。また、陰性になることが確認できるまで検査を続けてください。(確認できない場合は、③を見てください。)

②検査期間中、陰性が続く場合

早期に医師、薬剤師に相談してください。通常、排卵期に、本品を使用すると陽性となりますが、女性の内分泌的背景、例えば不規則な生理(月経)周期、短期LHサージ(12時間以内)などの原因で、まれに陽性とならないことがあります。

③検査期間中、陽性が続く場合

早期に医師の診療を受けてください。妊娠、分娩後、流産後、胎状奇胎・絨毛癌等の絨毛性疾患、人工妊娠中絶後、あるいは不妊治療のための薬剤投与、内分泌障害、閉経期などでは、排卵と無関係に、陽性が続く場合があります。

④検査をし、その都度陽性を確認した上で適切な時期に性交しても6周期以上妊娠しない場合

妊娠しにくい原因は排卵に関する問題だけではありません。できればパートナーと一緒に医師に相談してください。ただし30歳代後半以上の方、結婚後妊娠できない期間が長い方、早期の妊娠をご希望の方は早めに受診することをお勧めします。

検査結果

検査結果を記入してみましょう。

検査日数	検査日	検査時間	検査結果	その他・メモ
記入例	1月10日	AM8:30	陽性・陰性	【判定】に線なし。
1日目			陽性・陰性	
2日目			陽性・陰性	
3日目			陽性・陰性	
4日目			陽性・陰性	
5日目			陽性・陰性	
6日目			陽性・陰性	
7日目			陽性・陰性	
8日目			陽性・陰性	
9日目			陽性・陰性	
10日目			陽性・陰性	
11日目			陽性・陰性	
12日目			陽性・陰性	

排卵から約2週間後に、生理(月経)は始まります。LHサージをとらえるために、次回生理(月経)開始予定日の17日前から検査を開始すると、生理(月経)予定にずれが生じない典型的な例では、検査開始から約3日目に初めて陽性が現れます。(検査結果には個人差があります。また、あくまで典型的な例であり、異常がなくてもずれる場合があります。)

キットの内容・成分・分量・検出感度

【内容】テストスティック1本中

【成分・分量】

金コロイド標識抗体形成ホルモン・モノクローナル抗体(マウス) 3.68μg
 抗体形成ホルモン・モノクローナル抗体(マウス) 0.49μg
 抗マウスIgG・ポリクローナル抗体(ウサギ) 0.49μg

【検出感度】30mIU/mL

保管方法・有効期間

室温保存 27ヶ月間
 (使用期限は外箱およびテストスティックの袋に記載)

保管及び取り扱い上の注意

- ・小児の手の届かない所に保管すること。
- ・直射日光を避け、湿気の少ない所に保管すること(1~30℃)。
- ・冷蔵庫内に保管しないこと。冷蔵庫への出し入れにより結露を生じ、検査結果に影響を与えるおそれがあります。
- ・品質を保持するために、他の容器に入れ替えないこと。
- ・使用直前に開封すること。
- ・使用期限の過ぎたものは使用しないこと。

包装単位

7回分、12回分